

大阪市障がい者スポーツ振興とスポーツ施設のあり方検討について

1 はじめに

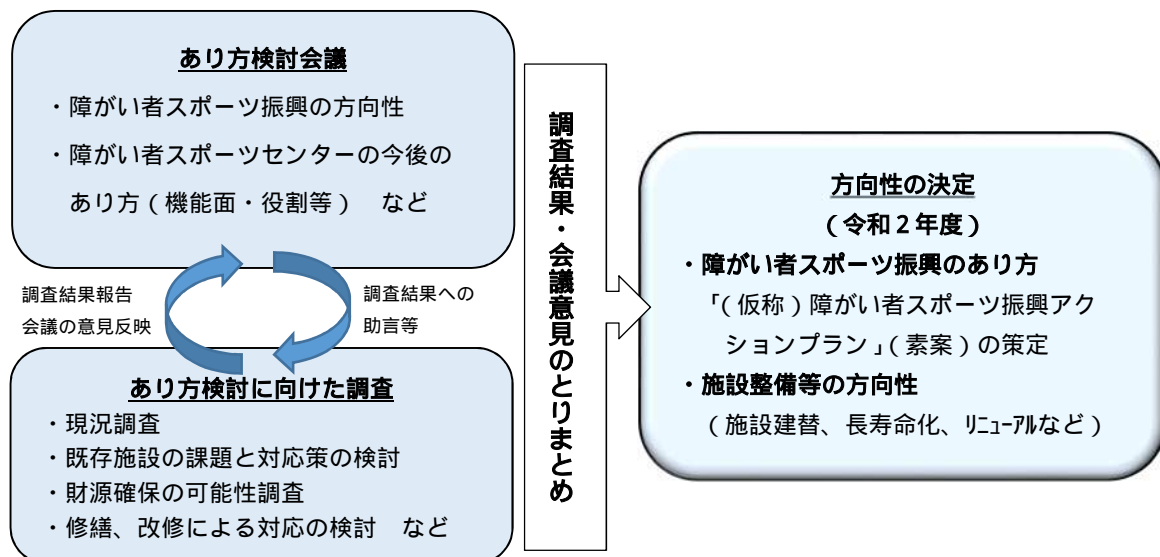
- ・ 大阪市では、昭和 49 年(1974 年)に全国初の障がい者専用のスポーツセンターとして「長居障がい者スポーツセンター」を開設し、平成 9 年(1997 年)に開館した舞洲障がい者スポーツセンターとともに、障がい者スポーツ振興を通じた障がい者の自立と社会参加の促進に取り組んできた
- ・ 市内の障がい者スポーツセンターでは、「障がいのある人が、いつ一人で来館してもスポーツが楽しむことができる」を基本方針として、専門性の高い指導員を配置してスポーツ指導にあたるほか、各種スポーツ教室や競技大会の開催、スポーツクラブやボランティアの育成等にも先駆的に取り組み、全国の障がい者スポーツの発展を牽引
- ・ とりわけ、長居障がい者スポーツセンターの開設から 45 年が経過し、障がい者の福祉施策であった障がい者スポーツ振興は、スポーツ政策の一環として、法や施策の整備が進み、日本で二度目のパラリンピックが開催されるなど、取り巻く環境は大きく変化

2 現状と課題

- ・ 大阪市では、長居、舞洲の障がい者スポーツセンターを拠点として、様々な取り組みを進めてきた
- ・ 長居の開設当時は、身体障がい者のリハビリテーションが中心であったが、いきがづくりや仲間づくり、競技としてのスポーツに取り組む中、近年では、知的障がい者や精神障がい者も多く来館し、障がい者スポーツ種目の多様化し、競技スポーツとしての魅力も格段に向上
- ・ こうした現状を踏まえた今後の「障がい者スポーツ振興のあり方」のほか、開設から 45 年経過した長居障がい者スポーツセンターの「老朽化への対策」、時代の変化やニーズに対応した「施設の機能向上」が課題となっている

3 あり方の検討

- ・ こうした現状や課題を踏まえ、引き続き「障がい者スポーツの振興を通じた共生社会の実現」をめざし、障がい者スポーツ振興とスポーツ施設のあり方検討に取り組む



大阪市障がい者スポーツ振興と施設のあり方検討会議の進め方

主な検討項目

- ・ 障がい者スポーツ振興の方向性
- ・ 障がい者スポーツセンターの今後のあり方（機能面・役割等） など

開催時期等

開催時期	会議内容	会議目的
第1回 令和元年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者スポーツ振興の方向性 （アクションプラン（たたき台） 障がい者スポーツ振興の現状と課題 仮説の提示 など） ・ 調査業務の進め方 など 	意見発散 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の考え方 ・ 現状・課題、解決策 ・ 調査の進め方 など
会議意見を 踏まえ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況の分析（利用者アンケート、施設管理者等へのヒアリング） ・ ソフト・ハード面の課題の洗い出し、対応策の検討 ・ 長居SCの劣化部調査 など 	
第2回 10月下旬（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果の報告（中間報告） ・ 障がい者スポーツ振興の方向性 （アクションプラン等のブラッシュアップ） ・ 障がい者スポーツセンター今後のあり方 （上記方向性に基づく施設の役割・位置 づけ、機能面） など 	意見発散 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果 ・ 今後の方向性、あり方 ・ 下半期の調査の進め方 など
会議意見を 踏まえ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財源確保の可能性調査 ・ 修繕・更新等の各パターンにおける概算費用の算出 ・ 当面の中長期修繕計画の策定 など 	
第3回 2月下旬（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果の報告 ・ アクションプラン（素案） ・ 施設整備の方向性 など 	意見とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ アクションプラン ・ 施設整備の方向性 など

補足調査、方向性等の取りまとめ